

# 実施報告書

## 千曲川・信濃川 いのちのリレー 2019

### 鮭遡上見学バスツアー

雌雄の鮭のドラマチックな「遡上」と「産卵」を見に行く感動のバスツアーへのお誘いです。

今から80余年前までの千曲川には鮭がたくさん遡上していました。今でも新潟県側(信濃川)には時期が来ると川幅いっぱい鮭が遡上しています。そのことをご存じでしょうか？

長野県でも一昨年度より鮭稚魚の放流を再開しました。近い将来、再び鮭が遡上する千曲川に戻ることが出来るかどうか、それは私たちが過去の事実の「語り伝え」が必要なことかと思えます。

新潟県加茂市の加茂川漁業協同組合と、新潟県五泉市の能代川漁業組合の鮭の産卵捕獲施設「ウライ」を訪問して、かつてのアユ、ウナギ、サケなど水産物が豊富に獲れた千曲川に思いを馳せてみましょう。



サケの捕獲施設

実施月日 2019年11月19日(火曜日)

募集人数 21名(車いす対応リフト付きバスを予定)(申し込み多数の場合は会費の払い込み先着順)

参加費用(保険を含む) 大人(高校生以上)5,000円 子ども(中学生以下)2,000円

集合場所 Aグループ 佐久市総合体育館駐車場横

Bグループ 東部湯ノ丸SA、松代PA、などの駐車場内などを予定

行程(予定) 各地集合は10分前をお願いします。

佐久=東部湯の丸SA=松代PA=(上信越道—北陸道)=三条燕I/C~(一般道)~

7:00~7:40

7:55

10:00~

加茂川漁協ウライ(サケ遡上見学)~能代川漁業協同組合(鮭とのふれあい)鮭汁の振る舞い~

11:00~11:20

12:00~13:45~

ストックバスター(買い物)~三条燕I/C(高速)=新井パーキング(トイレ休憩)=松代PA=東部湯の丸=佐久

15:30~16:00

16:30

19:30

⑨ 天候の具合その他の都合により予定コースの変更することもあり得ます。

尚、途中トイレ休憩は必要に応じて行いますが、食事停車は致しません。また、参加費用には飲食物は入っておりませんので各自で飲み物やおにぎりなど食べ物は希望のものをご持参ください。

お昼に能代川漁協さんのご厚意で鮭汁とイクラの振る舞いがあるかも知れませんが楽しみます。

別途、生イクラや生鮭をお土産としてご購入希望の方は事前申し込みの上で容器(クーラーボックスなど)をお持ちください。本年度の値段等の詳細はもう少しシーズンに入ってから決まります。

お申込み・お問い合わせは 信州水環境マップ・ネットワーク事務局 沼田 清(携帯)090-9801-6671

または、[ecolabo@f4.dion.ne.jp](mailto:ecolabo@f4.dion.ne.jp) にメールでお申し込みください。



河川基金

後援 さわやか会 上小漁業協同組合 自然エネルギー上小ネット にいがた水辺の会

本事業は公益財団法人河川財団による助成を受けて実施します。

昨年に引き続きまして、本年も 11 月 19 日(火曜日)、お天気は生憎の小雨が時折パラつく程度でしたが、遠距離にも拘らずほぼ予定通りの(前記)スケジュールで第二回目の鮭遡上見学バスツアーを無事に実施・終了することが出来ました。

ツアー実施に当たり数か月も前から予定先各位への連絡など並々ならぬお世話と貴重なアドバイスを賜りました「にいがた水辺の会」の加藤 功 副代表様、山岸俊男 副代表様、吉井 文夫 能代川サケ・マス増殖組合長様には心より感謝を申し上げます。また、組合員の奥様方には大変なお手間をかけたおいしい鮭汁をご馳走になりありがとうございました。

また、東信観光バスの草間ドライバーさんには大変優しい安全運転をしていただきましてありがとうございました。

「さわやか会」様、「上小漁業協同組合」様、「自然エネルギー上小ネット」様には毎年となりましたが広報等でのご協力を頂きましてありがとうございます。

本年も本ツアーの呼びかけに快くご参加いただいた 21 名(当初 22 名の予定がありましたが都合で不参加一名)もの「好奇心」と「行動力」の旺盛な皆様の労をねぎらうとともに、ご協力にあつく御礼申し上げます。

ご参加頂きました皆様からのご意見もたくさんいただきました。

「サケが跳ねる力の強さに驚きでした。」「もっと上流まで遡上できるようになれば良い。」「数年がかりで成長し、故郷の地でわが子に次の命を託すのを見ることが出来て良かった。」「何故長野県(千曲川)まで戻らないの?」「山・川・里・海のいのちの循環に感動した。」「これは大人より小中学生の子供たちに「命」を体験してもらいたい。」「いのちのドラマに参加出来て良かった。」「来年もあるならば是非子供と見に来たい。」等々の異語同音に肯定的なご意見を頂きました。

事務局としましても関係各位に感謝するとともに、来年も実施を目指したいと強く感じたところです。

『第 16 回身近な水環境の全国一斉調査』(2019/06/02 実施)の調査結果概要(パンフレット)が私のところに届いております。お入り用の方にはお分けいたしますのでお申し付けくださいますようお願い申し上げます。・・・以上文責は事務局・沼田 清・・・

ここに本事業の収支報告をさせていただきます。

2019 年度バスツアー会計報告 (単位:円)				
項目	収入の部	支出の部	収支残	備考
参加費 (22 名)	110,000			5,000X22 名
バス代 (高速代含む)		177,280		
能代川漁協会会場借用費・講師謝礼		13,000		
新潟水辺の会講師謝礼		20,000		
現金書留・礼状送料		623		
信州水環境マップ・ネットワーク会計より	100,903			
小計	210,903	210,903	0	

以下に齋藤和雄さん、中野 繭さんから寄稿いただいた感想文と写真を添付いたします。

## 「 鮭 」

齋藤和雄

ご存知の方も多いと思いますが、サケは川で生まれ降海し餌を求めて列島を離れアラスカまでを片道 2 年程かけて泳ぎ、そして生まれたであろう川を目指して子孫を残すという回遊に大ロマンを繰り広げることのできる魚なのです。生まれ故郷での遡上はサケにとって産卵のための一大イベント、日本人はサケといたらこの遡上の光景を思い浮かぶのではないのでしょうか。しかしサケも生き物で、完全にプログラムされた通りに行かないのがとても魅力的。また、沖で出会った仲間の後をくっついて自分の故郷と違った川に遡上してしまい、慌てて引き返すおっちょこちょいな奴もいるそうです。擬人化している話ですけど、とても面白いですね。これでこそ生き物というべきです。

魚偏の漢字を見ると私の顔の筋肉は弛緩される。要するに食いしん坊です。

鮭と鰻は旨い魚としてなぜかともに連想してしまう私ですが、不思議な生態とあのおこつ脊椎をもった鰻が蒲焼と姿を変えると、肉質全ての歯触りと綿密に計算された立体的な味が存分に発散され、口腔内に至上の喜びを醸し出してくれるのは鮭と同じ。

塩じゃけ、鮭汁、ムニエルと脂ののった肉質はホタテ貝と同じように女性にとってはホルモンバランスを整えるのに推奨されているのだそうです。男性の私でも遠慮なく好物となっています。勿論、イクラも大好物です。とはいえ子孫を残すための生物の聖域、人間が経済優先で搾取し過ぎるのは如何なものか。私の場合、中性脂肪が、とかで制御させられており、本当は存分に食べられなくて悔しいけれど…。

私は自然というのは何なのかをテーマとして信州の地に移住してきました。水環境ネット沼田さんとは直ぐに知り合うことが出来、お陰様で自然環境保全のいろいろな方と知り合うことが出来たことに感謝しております。また、これからもご活躍されることを切に願います。

## 鮭遡上見学に参加して

中野 繭（信州大学、ぼんすけ育成会）

この度、信州水環境マップ・ネットワークの活動に初めて参加させていただきました中野と申します。充実したバスツアーを企画して下さった皆さま、ありがとうございます。ツアーは予想通り盛り沢山で、産卵捕獲施設「ウライ」の見学、地元の鮭汁をいただきながらの交流、生きた鮭を川から採り上げてそのまま購入と、加茂川と能代川漁協の方々にお世話になりながらの特別な体験に大満足し、帰りには財布の紐が緩んでイクラを予定の3倍も購入してしまいました。今回のツアーに参加できなかった小3と中2の息子たちはお土産に持ち帰った大きな鮭に大喜びで、夜中まで解体作業を一緒に手伝ってくれました。遡上する鮭と一緒に見たり、地元の鮭汁を食べたりしたかったなあと思いました。

私は長野市の里山で絶滅危惧種の淡水魚シナイモツゴを対象にした生態学的な研究や保全活動（市民団体ぼんすけ育成会）をしています。里山では今、過疎により荒地が増えており、在来の豊かな生物多様性が失われつつあることが問題となっていますが、河川の自然環境はもしかしたら里山よりもさらに危機的な状況にあるかもしれません。なぜなら千曲川本流域で起きている在来魚の減少、伝統的漁業の衰退、外来魚の蔓延という厳しい現状に危機感を抱く一般市民に出会うことがほとんどないからです。かつて千曲川まで遡上していたたくさん鮭が千曲川では絶滅してしまったという歴史的な事実をもっとしっかり受け止め、これからの河川のあり方について深く考える時間が必要ではないかと思います。

今回のバスツアーが子供から大人まで参加できるツアーへと発展し、今後も継続することを心から願っています。



バスツアー写真アルバム



東信観光のリフト付きバス



加茂川ウライ (鮭捕獲施設)



能代川サケマス増殖組合のウライにて捕獲体験



袋・フクロちょうだい!!



バチバチ跳ねる大きな鮭に興奮!!



私も、私もと全部で30尾も買ってしまった!!

この写真は昨年撮影  
水が透明だとこんな姿が見られた。



大切な『命』をおいしい鮭汁(酒粕仕立て)でいただきま〜す(-\_-)☆